

タブレットPC等の特性を活かした効果的な利用法に関する研究

～教育の情報化におけるICT機器活用と運用管理～

福島県教育センター 情報教育チーム 指導主事 加藤 真理

## 1 研究の趣旨

急速な情報化やグローバル化の進展に伴って、子どもたちを取りまく環境は大きく変化している。社会の変化に対応できる力を身に付けるため、ICTを活用した教育の推進による情報活用能力育成が求められている。文部科学省によるICT活用の効果検証では、客観テストにおける学力、及びタブレット端末活用による思考・表現、知識理解・意欲、協働学習の効果等において、おおむね有効な結果が得られている。また、福島県内でもICT機器の普及に地域による格差がみられるが、教育センターとして、今後導入が見込まれるタブレットPCを中心とした、ICTの効果的な活用方法の研究を進め、学校現場での活用推進への対応が必要であると考え、研究テーマを設定した。今年度は主に教育センター内での検証を行い、次年度は研究協力校で実践を行う。

## 2 研究の概要

### (1) アンケートによるICT活用に関する実態調査

今年度、教育センターの研修に参加した教員を対象に詳細なアンケートを実施し、ICT機器活用の現状や問題点を把握するための調査・分析を行った。

### (2) 教育現場のICT機器の特徴

教育現場で利用されている主なICT機器について、その特徴を比較し、効果的な機器の構成を検証した。平均するとタブレットPCが優位で、画像転送装置、拡大提示装置と組み合わせることにより、教科指導において様々なシーンでの活用が可能となる。この組合せの利用を教育センター内で推奨するとともに、研修の中で検証を行った。

### (3) 教科指導での効果的な活用事例

教員研修チームと連携し、教育センターの各教科の指導主事より研修で行っているICT機器活用の指導内容、並びにICT機器の効果的な活用例について、アンケート及びヒアリングを行った。事例を収集するとともに、その効果について内容の分析を行った。

### (4) 指導主事及び長期研究員による実践

タブレットPCを、教員研修チームの指導主事に配布し、ICT機器活用の検証と研修での活用を推奨した。さらに、長期研究員の研究実践において支援を行った。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

- ① 情報教育チームで毎年行っている学校単位の調査に加え、研修に参加した先生方個人を対象にアンケートを実施したことで、より詳細なICT機器活用に関する実態の把握ができた。
- ② 教科指導における有効なICT機器のモデル構成を検証することができた。
- ③ 今後の研修や研究協力校実践で活用可能な、教科指導の効果的な活用事例と実践事例を収集できた。

### (2) 課題

- ① 効果的な活用に関してさらに研究を進めながら、次年度はセンター研修や研究協力校での実践で、現場の先生方へ伝達していく必要がある。
- ② ICT活用がさらに充実したものになるよう、活用可能なアプリやコンテンツの情報の収集と検証を進めていく必要がある。
- ③ 次期学習指導要領で検討されている、新しい学びへの対応やプログラミング教育等の実践につなげていきたい。